



と う み 東 御 市議会だより

TOMI

Vol.17 2008 5/1



晴れて今日から高校生（東御清翔高校入学式）



もうすぐ1年生（田中保育園卒園式）



完成間近の滋野コミュニティセンター

第1回定例会

第1回定例会	2～3P
総括質疑	4P
予算特別委員会報告	5P
常任委員会審査報告	6～7P
市政を問う	8～14P

請願・陳情	14P
全員協議会だより	15P
今議会で可決した条例	16P
議会のうごき	17P
私の一言	18P



平成20年度 第1回定例会



海野宿南側桜並木



増改築予定の田中保育園



千曲ビューライン



ゆうふる tanaka

平成20年度 縮小・廃止事業（前年度事業完了によるものを含む） 単位千円

項 目	廃止・縮小	昨年度比	内 容
職員健康管理特別事業委託料	廃止	△ 3,010	H19 年度制度見直しに伴う廃止
戸籍情報システムリース料	縮小	△ 1,049	H21 年 1 月リース期間終了後、再リース料の縮小
ISO14001 推進事業	縮小	△ 726	自己適合宣言への切替えに伴う縮小
健康老人表彰事業	廃止	△ 1,415	廃止
部落解放同盟東御市協議会補助金	縮小	△ 275	段階的削減を図る
低所得老人医療扶助費（県単・市単）	縮小	△ 4,520	県補助金廃止に伴う縮小
重度心身障害者介護慰労金	縮小	△ 1,250	対象期間、給付金単価：「6 月以上 12 月未満 50,000 円」、 「12 月以上 100,000 円」→「6 月以上一律 50,000 円」
要介護者家庭介護者慰労金	縮小	△ 4,500	
健診事業	縮小	△ 17,613	医療制度改革に伴い、国保分が特定健診へ移行
みまき福祉会施設使用料負担金	廃止	△ 5,109	健康増進係、総合福祉センターへ移転のため
憩いの家管理運営費	縮小	△ 3,992	改善計画に基づき、事業内容等の見直しを図ったため
消防団報酬	縮小	△ 975	定数減（865 人→ 800 人）に伴う縮小
英語指導助手招請事業	見直し	△ 2,193	民間委託へ切替え

平成20年度 新規事業からピックアップ（単位 千円）

項 目	金 額
田中保育園プレハブ園舎改築・増築工事	9,800
柵津児童クラブ室改修工事	5,500
地域介護・福祉空間整備事業	15,000
宅幼老所施設整備事業	6,060
深井住宅団地道路改良事業	14,000
滋野 2 0 8 号線道路改良事業	38,000
地方道路整備臨時交付金事業（浦久保・山崎線）	61,000
田中小学校普通教室棟耐震補強工事	91,586
地域のやるき支援事業	5,360
児童福祉医療費（対象：小学校 3 年まで拡充）	13,680
後期高齢者医療特別会計繰出金	54,716
陽寿荘施設整備費負担金	33,876
ごみ減量化施設設置補助（補助率 50%→ 80%）	1,700
妊婦一般健診（健診回数 2 回→ 5 回）	5,771
温泉施設指定管理経費委託	73,000
下水道事業会計繰出金	2,349,071
市観光協会 50 周年記念事業補助	1,000
土砂災害、千曲川洪水ハザードマップ印刷	2,000
地理情報システム導入委託	1,640

平成20年度予算編成の基本的な方針

平成 20 年度予算編成に当たっては、厳しい財政状況の中で、歳入の確保と歳出の削減を基本に、公的資金の繰り上げ償還による将来負担の軽減をはじめ、財政の健全化に十分配慮した。

歳入については、市内企業の好調さに加え、所得税から住民税への税源移譲により、市税においては増額が見込めるものの、景気の動向によっては不安は脱し得ない状況にある。

歳出においては、経常経費の物件費について、19 年度当初予算の 97 % 以内とする枠配分を行い、経常経費の削減に努めた。とくに、人件費については、東御市定員適正化計画および早期退職勧奨制度の導入により、5 千万円を超える人件費の圧縮を行った。また、投資的経費については、懸案事業について精査した中で、一定の予算付け

を行った。

支出に対して不足する財源は、合併特例債と基金繰入金を充て予算編成を行った。合併特例債にあつては、6 億 3 9 8 0 万円、基金繰入金にあつては前年比 5 億 4 0 1 6 万円余増の 16 億 9 2 0 0 万円を見込み、その結果、平成 18 年度末の退職手当基金を除く一般会計関連の積立金残高 54 億 1 5 0 0 万円、20 年度末では、40 億 5 2 0 0 万円になる見通しである。

また、土地開発公社の 50 億円の債務保証については、金利の上昇傾向の中にあつて、早期健全化が必要であり、土地の買い戻しを含め検討していきたい。さらに、病院経営の健全化については、国が示したガイドラインに基づき健全化計画を策定し、その計画を強力に進めることにより、早期に経営の健全化を図っていきたい。

平成20年度会計別予算（単位 千円）

会 計 別		予 算 額
一 般 会 計		13,665,000
特 別 会 計	国民健康保険	3,112,000
	老人保健	371,700
	介護保険	2,213,400
	地域改善地区住宅改修資金等貸付事業	11,040
	工業地域開発事業	431,200
企 業 会 計	後期高齢者医療	265,600
	水道事業	収益的支出 686,178
		資本的支出 516,481
	下水道事業	収益的支出 1,343,956
		資本的支出 2,036,682
計	病院事業	収益的支出 1,540,280
		資本的支出 51,077

本年度予算可決！

平成 20 年第 1 回定例会は、2 月 26 日から 3 月 21 日までの 25 日間の会期で開かれた。初日は、平成 19 年度各会計補正予算・平成 20 年度各会計予算・条例議案等の上程が行われた。平成 20 年度一般会計・特別会計・企業会計の予算案については、本議会と常任委員会で行われた。間にわたり詳細な点について審査が行われた。さらに、一般会計については、各常任委員会の予備審査結果を持ち寄り、3 月 17 日に、13 名による予算特別委員会でも慎重に審議された後、本会議において委員会報告がなされた。採決の結果、すべての会計について原案通り可決した。

平成 19 年度の補正予算についても原案通り可決した。また、東御市後期高齢者医療に関する条例など新設条例 3 件、一部改正条例 16 件、廃止条例 1 件についても審議し、それぞれ原案通り可決した。その他に規約の変更、陳情等も審議した。

総括質疑

～こんな点は、どうなっているか～

平成20年 第1回 定例会
予算案と条例案など審議を行いました

平成19年度一般会計補正予算について

問 今年度、早期退職者は16人であるが、来年度の採用人数は総務部長 採用が6人で、専門職においては、保健師ならびに管理栄養士等については数人を予定している。

平成19年度東御市病院事業会計補正予算について

問 診療所の患者が当初見込より減っている理由は病院事務長 当初は一日当たり55人を見込んだが、現状の中では48人と若干減っている。これについては公立病院全体的に外来患者が減っているというところが見受けられるが、自己負担が増えたりして、今までのように気軽に医者にかかれなくなったことなどによるものと考えられる。

平成20年度一般会計予算について

問 放課後児童クラブについて、市内全5小学校で続けて取り組む考えは

民生福祉部長 今年度は称津小学校で行い、今後、順次、各小学校に広めたい。

問 生活保護費対象者は

民生福祉部長 高齢者世帯で21世帯、母子世帯で1世帯、傷病世帯で17世帯、障害者世帯で6世帯で全部で45世帯で57人である。

問 田中保育園の修理について

民生福祉部長 田中保育園のプレハブ園舎改築、増築工事の980万は、床や天井すべて張り替えて断熱材を入れ、合わせて外周も補強するものである。

問 今回地方自治法の改正によって収入役を置かずにできるということだが、その役割と任務について

収入役 収入役制度は廃止されるが会計制度は変わらないため、収入役に代って会計管理者を置くこととなった。いままでの特別職としての仕事以外は継承する。

問 丸山晚霞記念館の来館者の推移について

教育次長 来客数は非常に少ないのが実情である。丸山晚霞記念館に、専任のガイドの育成を図り、作品や晚霞の人となりなどを説明できる、そんな体制づくりを進めたい。

問 大田区と市のイベントについて総務部長 平成20年10月18、19日、

蒲田駅の西口で秋田県美郷町と一緒に市の物販を含めPR活動のための補助金45万である。

問 若者就業支援事業委託料について

商工観光課長 平成20年からの新規事業で、若者やその保護者の就労、職業の悩みについて相談を行い若者の就労支援のため、専門家や産業カウンセラーに依頼して年6回行う相談会の費用18万円である。

問 田中駅南口整備事業が当初の見積りより三億円も増えた理由

産業建設部長 自由通路の鉄骨鋼材の値上がり分と、地権者の要望により買い増しと線路側のしなの鉄道、JR貨物の残地の買い取りによるなど当初見積りより大幅な事業費の増大となったためである。



予算特別委員会報告

予算執行の迅速化と
市民サービスの向上
を図りたい。



予算特別委員長
青木 周次 議員

本委員会は、3月11日に付託された平成20年度一般会計予算案について、各常任委員会の予備審査に基づき、3月17日に審査した結果、全会一致により原案を可決すべきものと決定した。
なお、予算執行にあたっては、次の3点を付帯意見として付した。

1. 備品・作業用機械・公用車等市有財産の管理運用については、全市的に精査し、一括管理をするなどして合理的、効率的な運用の向上を図るよう努められたい。
2. 市内保育園の管理・運営については、地域の声を聞き、将来を見据えた保育園の統合・改築計画を早期に立てられたい。
3. 大規模事業を行う際は、当初計画の段階において詳細な調査を行い、事業実施の途中において大幅な変更が生じないように努められたい。

平成20年度一般会計の採決にあたって

賛成討論

本年は第1次総合計画の前期5年の最後の年になります。19年度は、環境、子育て、教育の安心、行政改革に健康づくりを加え推進しました。

合併後、一体感の醸成を図る中で東御市の基礎づくりは順調な足どりで進んでいます。20年度の当初予算は4月に市長選が行われるということで、骨格型とし、総額136億6500万円でしたが、前年度当初と比べると10億800万円、率にして8%増の予算です。

歳入では、市内企業の好調さに加え、所得税から住民税への税源移譲により市税において増額が見込めるものの景気の動向によっては不安はないとはいえない状況のようです。

財政の厳しい中、歳出については19年度当初予算の97%以内とする枠配分を行う事により、経常経費を削減し、田中駅南口の整備事業、田中小学校耐震補強工事、市単独による児童医療費無料化の小学1年生から3年生までの引き上げ、ごみ減量化施設設置の補助率アップ等、市民に配慮された予算編成であると評価するものです。

反対討論

次の4つの理由により平成20年度一般会計予算案に反対します。

- (1) 同和事業は、御代田町のように直ちに廃止し、一般入権問題にすべきであると考えます。
- (2) 田中駅南口開発に、今年4億4,389万円、総額で8億1千万円を投入するわけですが、南口利用者数もわからないまま進めることはいかがなものでしょうか。
- (3) 長野県後期高齢者医療制度関係の予算に繰出金として5,472万円、広域連合負担金2億2,487万円を支出することは反対であります。
- (4) 基本的人権の侵害の危険性のある国民保護計画に関連した予算の執行はやめるべきであると考えます。

収入役が会計管理者へ移行

本委員会は3月12・13日、20年度一般会計予算の所管事項の予備審査と8件の条例案、1件の陳情についての審査を行い、現地調査は、来年のNHKテレビの大河ドラマ「天地人」に関わりのある称津「ののう」(巫女)の墓や、かつて、地域の多くの女性たちの信仰を集めた「お姫尊」の現地調査、さらに、滋野コミュニティセンターの建設状況、梅野記念館の展覧作品についての現地調査を行った。

- 条例8件のうち、新設条例は滋野コミュニティセンター条例のみで他はすべて、既存条例の一部を改正する条例案である。その概要は、
- ① 市の組織条例の一部改正は、新たに市での後期高齢者医療制度に関する事務を行うための規程整備と、公営企業として上下水道局を新設するための規程整備を行う改正である。
 - ② 職員の定数条例の一部改正は、上下水道局の新設に伴う職員定数の改正である。
 - ③ 特別職報酬等審議会条例等の一部改正は収入役を廃止し、一般職の会計管理者に移行することに伴い四つの関係条例の一部を改正するものである。

総務 文教

- ④ 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正は、人事院勧告に基づき、管理職手当を定率性から級別定額制に移行するための改正である。
- ⑤ 市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正は、会派活動の充実強化、議員個々の知識・資質の向上を図り行政のチェック機能政策形式機能を高めるための調査費の改正である。
- ⑥ 特別会計条例の一部改正は、後期高齢者医療特別会計を創設し、下水道事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴い、関係条例の特別会計を廃止するものである。
- ⑦ 地域情報交流施設条例の一部改正はホームターミナル預かり保証金に関する規程を、デジタル機器への切替えを促す意味から、廃止し、保証金を返却するという改正である。



称津お姫尊巨石

以上、8条例すべて、原案を可決すべきものとの審査決定となった。なお、陳情第2号(14P参照)についても、採択すべきものと決定した。

後期高齢者医療制度

スタート

本委員会は、3月12、13、14日、平成20年度予算案の所管5課の予備審査と、病院事業会計、5つの特別会計、条例9件、前年度9月議会から継続審議分を含めた陳情2件の審査を行い、その後現地調査を行った。

一般会計予算については、予算特別委員会の報告に委ね、ここでは特別会計、条例案の審査の概要を記す。

国保特別会計は、反対の立場から、収納率の低下や差し押え等が増加する恐れがあるので、一般会計からの繰り入れをさらにすべきであるとの意見も出されたが、採決の結果、賛成多数で原案を可決すべきものと決定。老人保健特別会計、介護保険特別会計は、それぞれ全会一致で原案を可決すべきものと決定。

地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計は、平成19年度決算においては、滞納額のさらなる増加が見込まれているが、借入金の返済について、滞納対策を強化するとともに、分納してでも納付するよう努めることを付して原案を可決すべきものと決定した。

後期高齢者医療特別会計は、原案を賛成多数

社会 福祉

で可決すべきものと決定。



うまくできるかな (滋野保育園卒園式練習)

病院事業会計は、平成20年度予算は、職員体制も整いつつあり、病院の現状に即した編成ができたことは評価できるが、公立病院改革ガイドラインに沿って、職員が丸となって経営改善に努めることを付して原案を可決すべきものと決定した。

議案第21・31・32・33・34・35・38・39・40号(16P参照)は、それぞれ審査の結果、原案どおり可決すべきものと決定した。

現地調査は称津放課後児童クラブの予定教室、和児童館、滋野保育園・御牧原保育園・ふれあいトロンセンターを調査した。

下水道事業の 公営企業化を実施

本委員会は、所管の5課と農業委員会の20年度の一般会計の予備審査と特別会計1件と水道事業会計、下水道事業会計、条例3件と陳情2件について審査を行った。20年度の予算案各課の予備審査においては、建設関係では、田中駅南口の工事において、当初計画より大幅な増額になった理由について質問が出され、当初計画にはない用地費の増、また、自由通路工事における詳細設計の精算結果による等の増によるものであるとの説明を受けた。

商工関係では、日本ロマンチック街道協会負担金の審査の中で活動の意義の内容・効果について質問が出され、市内のチェックポイントは数カ所あり、年間1万5千人の参加があり、観光には役立っているとの回答があった。また、二ト対策での若者就業支援事業についても議論された。

農政関係については、水田農業構造改革事業の審査の中で、減反政策については、地域間調整の取り組み状況についての質問が出され、20年度において、JA佐久浅間地区の中で250

産業 建設

t面積35haの調整が見込まれるとの回答があった。

総合支所関係については、火のアートフェスティバル、北御牧地区夏祭りについて事業内容、参加人数、寄付等について議論された。上下水道関係については、合併処理浄化槽整備事業について審査した。

水道事業会計および下水道事業会計では、大型企業誘致での水道量や、下水処理について支障はないかとの質問に対し、とくに問題はないとの回答であった。以上、各議案と条例について全会一致で可決すべきものと決定した。

また、陳情第1号(14P参照)については、「地方にとつては必要な財源」という意見と「廃止すべき」との意見が出され、採決の結果、採択すべきものと決定した。陳情第4号(14P参照)は「不採択」とした。

現地調査は、春原家住宅、歩き巫女「ののうの家」、鞍掛工業団地予定地、道の駅「雷電くるみの里」、雷電生家、赤岩急傾地対策工事、「グリーンハム布引」について調査を行った。



滋野赤岩地区の急傾地

一般質問

市政を問う

本定例会の一般質問は3月6日・7日の2日間にわたり12人の議員が行った。要約してお知らせします。



おいしい給食「うれしいな。」(田中小学校)



小山 義明 議員

問 食の安全について、農業について

答 市の保育園・小学校では中国食品は使っていない

問 食の安全と農業について
産業建設部長 保育園、学校給食で中国天洋食品の物は使っていない。中国の冷凍食品も使っていない。地産地消の推進と食育の推進に努めている。

後継者づくりでは、認定農業者の育成、新規就農者の受け入れを重点として取り組んでいる。
遊休荒廃地対策としては、東御市は、耕作放棄地が県下の市町村の中でも多い方で、重点市町村に指定されている。昨年6月、遊休農地解消計画を策定し、関東農政局長に提出した。現在、新規就農者の確保、荒廃地整備など行っている。

農業委員会会長 農業委員会は27名で活動している。主な活動は、役員会、定例総会月一回、農地法に関する審議、三つの部会(農地・農政・経営改善)に分かれての活動などである。
さらに、近隣農業委員会との交流、グリーンツーリズム事業、農地パトロール、JAとの協力、巨峰王国まつりへの参加、火のアートフェスティバルへの

出店など幅広い取り組みも行っている。農業委員会だよりも数多く発行したい。
文化・スポーツ振興について

教育長 「生活文化都市」づくりでは、丸山晚霞記念館、芸術むら公園の梅野記念絵画館の活動を中心に行ってきた。生涯スポーツまちづくり、競技スポーツの振興については、健康づくりと合わせて、生涯スポーツまちづくりを中心に取り組んできた。

問 次世代育成支援行動計画について
教育長 市の5か年計画に沿い、市内連絡会議で取りまとめている
事業所の行動計画の策定はおくれている。※国土利用計画の質問もした。

一般質問

問 大相撲史上最強の力士である、雷電が当市の出身であることを、観光面で何か活用できないか。

産業建設部長 雷電については、道の駅に雷電資料館として展示品の公開がされており、昨年の九月には雷電像が完成した。そうした資料館や雷電の生家など、雷電をテーマとした観光ルートの設定などについて、道の駅「雷電くるみの里」と連携して、観光振興に取り組みたい。

地域の防災活動を担う消防団員の減少について

問 全国の消防団員が90万人を割り込み、このまま減少傾向が続くと地域の防災活動に支障がでると、心配される



小林 宗雄 議員

問 雷電の観光面での活用は考えられないか

答 雷電をテーマとした観光ルートなどを考えたい

が、市の取り組みは。今後、部と部の統合の考えは。
総務部長 当市においても、消防団員の減少は大きな問題である。このような状況下、市としても女性団員の積極的な採用、消防団協力事業所表示の活用などを通じて、団員確保に努めている。

また、地元の合意のもと部と部の統合ができれば市として、その意志を尊重しできるだけ支援を含め協力していきたい。

市独自の農産物の認証制度について

問 最近、とくに食の安心安全に関心が高まっているが、市として農産物の認証制度を設けブランド化を進める考えは。



駐車場が要望される雷電の生家

産業建設部長 現在は市独自の認証制度の取り組みは考えていないが、JA等と協力し、栽培指針をつくり、地産地消を推進し、将来はブランド化を進め、ロゴマークなどの検討も考えたい。



青木 周次 議員

問 公共サインの区名表示について

答 平成21年度以降で実施していく

問 公共サインというものは、公共施設の案内誘導・集落表示の統一による新市のイメージアップの一体感を目標に行われたものであるが、区名表示案内看板において、71区あるうち45区で79か所の設置がみられるが、設置されていない区が26区ある。合併して双方の交流も深まり、来訪者や市民が他の地区へ行った時に、わかり易くするた

めの表示板であるので、区に設置希望を聞くのではなく、全区に設置をすべくだったのではないかと思うがどうか。
産業建設部長 未設置の区が26区あるので、他の誘導案内等も含め、公平性等も考慮しながら、今後、実施計画に盛り込み、平成21年度以降で実施していく。



全区への設置が望まれる公共サイン

道路特定財源の暫定税率の取扱について

問 道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、東御市の財政および道路行政にどのような影響がでるか。

市長 道路は地域経済の活性化や住民の安全・安心・生活を支える基本的な社会資本である。東御市の道路整備を促進していくために、道路特定財源の暫定税率は貴重な財源であるが、暫定税率が廃止された場合、約1億4千万円の収入不足が生じることになる。収入不足は教育や福祉等、他の行政サービスへの影響も配慮した中での道路行政の見直しが必要になる。また、東御市内で行われる国・県の直轄事業についても、延伸や縮小の影響がでるものと思われる。

県道東部望月線・通称「宮バイパス」など、現在東御市内で実施されている県道事業路線は4路線あるが、今後どのように影響がでるか心配される。



吉澤 武 議員

問 休日・夜間でも利用できるコンビニ収納の検討を
試行期間を経て20年度から
始めたい

問 全国の地方自治体で、給食費・国保税等の滞納が増えていると聞く。東御市ではどうか。
飯田市でコンビニ収納を始めたなら、『期限内の収納が増えた。』と、報道されたが、当市でも検討されたい。
ネット公売についてはどうか。
年収200万円以下の勤労者が、1千万人を超えたといわれ、払いたく

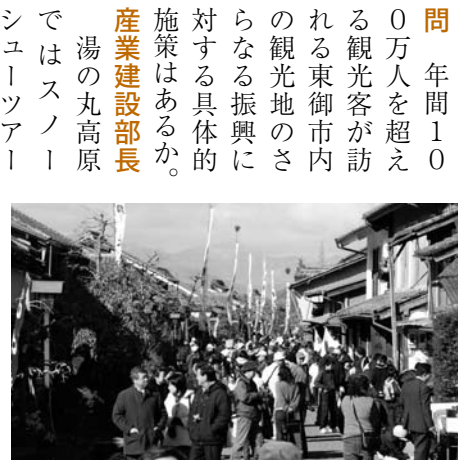
ても払えない人と、払えるのに払わない人を、厳密に分けて考える必要があると思うが、把握できているか。
地方公務員法30条には「すべての職員は全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し……」とある。市長は、リーダーシップをとって職員の意識改革をどう進めておられるか。
総務部長 給食費は昨年まで82万円余

りが未納となっている。学校職員とPTA役員が協力して収納に努めている。国保税は、毎年1億3千万円余りが滞納となっている。
コンビニ収納の場合、手数料が約60円と高くなるが、納税者の利便性を考え、20年度より実施していきたい。
ネット公売については既に契約を済ませており、差し押さえ品によっては、すぐ実施できるようにしている。
払えるのに払わない人の把握は、大変難しいが、再三の呼び出しに応じず財産調査予告書を送っても連絡の無い方については、預金調査等を行い差し押さえを実施している。
今後も納税相談の充実、調査事務の徹底に努めたい。また、税務課内に収納

対策センターを設置したい。
市長 東御市は収納率が高く、職員はよくやっていると感じている。
いつも、市民に対する優しさが無ければいけないと思っているし、正直者がばかをみるような行政をやつてはいけないと考えられている。
行政区の格差について
問 市内行政区において、最小6世帯、最大745世帯という大きな差について市はどう考えているのか。
総務部長 市内には71の行政区があり、成り立ちについてはさまざまな条件と経緯がある。区が行政との関わりや活動をするにあたっては、ある程度の規模と組織が必要になると思われるが、区の運営はあくまで区民の総意による活動であると考えているが、市としてはお手伝いできることは積極的に支援をしていきたい。



収納率アップが期待されるコンビニ収納



観光客でにぎわう海野宿



三縄 雅枝 議員

問 東御市における観光振興の具
体的施策は
答 環境整備、持産品のブランド化
に力を入れ、誘客の拡大を図る

問 年間100万人を超える観光客が訪れる東御市内の観光地のさらなる振興に対する具体的施策はあるか。
産業建設部長 湯の丸高原ではスノーシューツアーが人気となり、ツアー客が増加している

ので、受け入れ体制の強化と整備を推進していく。海野宿においては、4月より、上田駅からの周遊バスが運行することになったので、おもてなしの強化をしていきたい。祢津地区においても来年度の大河ドラマ「天地人」で注目されると予想されることから、活性化委員会と連携をし、観光振興対応をする。
問 観光振興を図るための組織体制についてどう考えるか。
市長 予算的に何人もの職員をとはいかないので、観光に明るい職員の配置

をすることによって補っていきたい。
問 観光施策を整える中で、観光地の案内役、ガイドは必要と考える。
地域の人々の人材活用という意味でも観光ガイドの育成を考えると。
産業建設部長 ツアーにガイドがつくことにより、ツアーの内容が充実していたとの声もあり、まだまだ数も少ないのが現状なので、ガイドへの積極的



山崎 美喜子 議員

問 一般会計から繰り入れて
国保税を引き上げない対策を
しないのが原則

問 国保税の現状、引き上げの理由は何か。一般会計から繰り入れをすべきである。特定健診の費用は、国保財政から拠出されるがどうか。
民生福祉部長 滞納者663人、短期保険証242世帯、差し押さえ79件、引き上げ理由は、後期高齢者支援金制度の創設と医療費の増加である。今回、一般会計から1億円繰り入れる。特定健

診で1人当たり3千円の負担増となる。
後期高齢者医療制度は、市民を守る立場で対応を
問 保険料が2年ごとに改定されるが、今後の見通しはどうか。滞納者から保険証の取り上げはしないこと。75歳以上の医療はどうなるのか。希望者全員を健診の対象にすべきと思うが。

民生福祉部長 保険料率が上昇していく傾向にある。滞納者には、納付相談を行う。75歳以上も必要な医療が受けられる。健診も実施する。
市長の施策方針について
問 土地開発公社の債務保証の早期解消の具体策は。市民病院の健全化計画は。下水道会計が企業会計になるが、住民の負担増にならないか。この間、建設された施設は、建設時の目的が十分達成されているか。
市長 公社が先行取得した土地を買い戻し、債務保証を縮小する。病院は、市民の意見を聞き改革をしたい。適正な下水道使用料の負担をお願いする。長野救命医療専門学校は、元気な若者の



後期高齢者医療制度説明会

行き交うまちとして、イメージアップに貢献していると確信している。丸山晩霞記念館は、十分な状況ではない。マレットゴルフ場は、PR不足の面があった。



笑顔での窓口対応



石和 大 議員

問 子育て、老後、暮らし、環境、
財政は安心か
答 多くの課題が残されている

問 市民が窓口で相談する不安について、親切に対応し、それを市長に伝えていくか。
市長 専門職員が対応し、部長、課長が必要に応じて、市長に報告している。特例債とはいえ債務が増え、基金

は年々減っていくが、財政は安全か。
市長 行財政改革の推進、財源の重点的配分等で財政基盤を整える。
問 財政の安心は、市独自の増収政策によって担保されると考えるがどうか。
市長 企業誘致が見込まれ、50年に一度あるかないかの大規模プロジェクトの成功によって財政はかなり潤っていく

と思う。
問 子どもには奉仕の心、世の中のために力を出す人間になれることを教え、そういう人となるために自分に力をつける必要があると教えるべきだと考えるがどうか。
市長 奉仕の心を育てることが人間性を豊かにすると思っている。
問 市民病院をどんな病院にして、市

民の安心を確保するか。
市長 後方病院として軽度急性期疾患の患者を中心に地域医療を展開していく。
問 高齢化がますます進む中で、一人暮らしの方々が減るが、安心をどう実現するか。
市長 元気で長生きしていただくことが一番の子孝行といえる。親孝行もできる。
問 人は小さな喜びを重ねること、小さなことでも人に認められることなどを積み重ねることが、真の豊かさにつながると思うがどうか。
市長 いい仲間づくり、いい仲間がいれば夢が実現できる。みんなで努力したい。いい市にしていきたい。



依田 政雄 議員

問 行財政改革推進について

答 財政健全化の4指標等の公表を行い、いっそうの行財政改革を推進する

問 行財政改革の取り組みについて。

総務部長 財務4表および財政健全化の4指標の公表を行い、将来の財政的見通しなどの情報を市民の皆さんと共有し、一層の行財政改革を推進する。

市民後見人の養成で成年後見制度のさらなる推進について

ついて伺いたい。

民生福祉部長 今後も成年後見制度や諸制度の普及ならびに活用することによって、高齢者や障がい者の生活支援や社会参加の推進に努めていきたい。

高齢者や障がい者のちょっとした困りごとに対応する支援サービスについて

問 一人暮らしの高齢者や障がい者の

ちょっとした困りごとに対応する支援サービスを導入し、高齢者や障がい者の困りごとに対応すべきと思うが、市の取り組みは。

民生福祉部長 今後、市として、民生児童委員、社会福祉協議会、また、市民の皆さんと連携しながら、要望をもとに対応していきたいと考えている。

地域再生対策費の現状と活用について

問 平成20年度の地方財政対策として、創設された地方再生対策費について、その趣旨と新年度の算定額また今後の取り組みは。

総務部長 東御市の場合、20年度交付税に1億4600万円が地域再生対



総合福祉センター受付

策費として試算されている。今後これらを財源として、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりに役立てていきたいと考えている。



くるみ園(サンファームとうみ)

問 中山間地域に限らず高齢化により、農地の耕作放棄地が増えつつあるが、この農地の有効利用についての考えはあるか。

産業建設部長 高齢化社会という特殊な時代を迎え農業全体を取り巻く問題であるが、飼料作物を耕作し、地域の畜



清水 新一 議員

問 遊休農地の利用、促進について

答 意欲的な担い手への営農環境の構築が大切

産経営と連携した地域循環型生産体制や、市の特産であるクルミを植え、景観農地として再興させていく取り組みや、棚田景観を生かした体験農業も考えられる。

また、認定農業者、若手の新規就農者といった意欲的な担い手への一層の農地集積、作業委託等を地域全体で進めていくことで、力強い営農環境が構築

できるものと考えている。

問 温暖化と農業経営で大切な、気象・立地条件を生かした適地・適作についての考えはあるか。

産業建設部長 今、ここで作物を推奨するというのは難しい。市場からの要望では、ブドウのナガノパール、ジャイアントマスカット。野菜ではパプリカ、アスパラ、トマト。りんごではシナ

ノスイート、秋映等の品種への移行も考えられる。

廃棄物対策で、市の「環境をよくする条例」について

問 条例の中に、環境審議会の設置が示されているが、住民や地域で環境が問題になっていることについて審議会を取り上げてもらえるのか。

民生福祉部長 この審議会は、環境基本法の規程により、市の条例の定めるところにより設置されている。

審議会の任務は、生活環境および自然環境の保全に関する施策の策定に関すること、規制および開発基準に関することなどの調査審議をすることとされている。



荻原 利幸 議員

問 市長はまちづくりの五つの安心をどのように評価しているか

答 課題は残されているが、順調に進んだ四年間と評価

市長 五つの安心を基本に、市民の安心・安全を守るため、市民の皆さんの声に耳を傾けながら、「さわやかさを暮らしに結ぶまち」、「活力を産業に結ぶまち」、「健やかさ、安心を結ぶまち」、「未来を担う人を結ぶまち」、「支えあい夢を結ぶまち」に沿った施策を精力的に展開していきたい。

問 ごみの減量化の対策は。

民生福祉部長 平成17年度に一般廃棄物処理基本計画を策定し、ごみの排出量の抑制、ごみの分別の徹底、安全で安心なごみ処理、きれいなまちづくりの4点を基本方針に、減量化、資源化の仕組みづくり、普及・啓発活動、ごみ減量アドバイザーの養成等を実施する。

問 生ごみの堆肥化の実現は。

民生福祉部長 生ごみ処理機の購入費

の補助率を50%から80%に引き上げ、1世帯でも多くの生ごみの減量化、堆肥化に取り組んでいただきたい。

問 代替エネルギーの普及、生産への取り組みは。

民生福祉部長 環境基本計画の中にも地域全体の温暖化防止計画を策定し、平成22年までに計画をつくって、取り組みが出来るかを検討していく。

問 防火対策で水源確保は。

総務部長 消防力の基準に適合している消防水利は、消火栓2283基、防火水槽は259基で約76%の充足率になっている。

問 各家庭での火災報知器の設置、指導をどのようにしてきたか。

総務部長 住宅火災による犠牲者を減



市民の生命・財産を守る東御消防署

らすため、消防法が改正された。平成21年6月1日までに設置が義務づけられ、市報、オフトーク、有線放送等で住宅用火災報知器の必要性和早期設置をお願いしている。



山岸 淳子 議員

問 市民参画と協働のまちづくりについて

答 市民の力は不可欠。さらに連携を密に推進

問 まちづくり協働係一年目の成果と課題は。

総務部長 区が自主的に行っている美化清掃活動等を支援する軽トラック公用車両の貸し出し制度を始めた。また、市民活動団体の実態調査や市ホームページでの団体紹介、さらには、広聴活動の充実と市民参画の仕組みとしてパブリックコメント手続きの制度化や市民協働のまちづくり指針の策定をした。今後、これらの取り組みについてのさらなる普及と利用状況を検証し、より良いものにしていきたい。

問 20年度、市民協働のまちづくり指針の5つの基本方針の具現化として、次の4点を要望するが如何か。

①行政と市民活動団体の顔の見える関

係作り②市民活動団体のネットワーク化と推進体制作り③市民活動サポートセンターの設置④市民活動への意識の高揚ときっかけ作りのための市民団体情報誌の制作・活動発表会や地域活動体験会の実施等。

総務部長 市民活動団体との連携を深め、ネットワークの構築、サポートセンター等検討したい。情報誌や発表会・体

験会は、市民活動団体の活動を引き出す中で検討したい。

保育環境の充実について

問 保育園の老朽化や未満児の入園増加により、保育園の増改築の計画的対応が必要と思うが市の考えは。

民生福祉部長 多くの保育園の老朽化が進み、未満児も増加傾向にある。10月



日陰が欲しい西部保育園

頃、提言頂く「保育所あり方検討懇話会」の意見を踏まえ、今後の保育園の改築等について検討していきたい。

※伊豆宮公園のトイレ・遊具の整備、改定される保育所保育指針についても質問した。

全員協議会だより

全員協議会が開かれ、市づくりに関わる重要事項について、行政側の各担当者より説明を受けた。

その主なものは、次の通り。

1 市長選挙の日程について

2 事後審査型一般競争入札について

入札、契約手続きの公平性、競争性、透明性の向上を進めるため次のように改正する。

◎指名競争入札

設計金額

全工程 130 万以上～ 1,000 万円未満

◎事後審査型一般競争入札

設計金額

全工程 1,000 万以上～ 3 億円未満

◎一般競争入札

全工程 3 億円以上



工事が始まった田中駅南口

3 公的資金補償金免除繰り上げ償還健全化計画について

4 行政改革の推進状況について

平成 20 年度組織の主な見直しは次の 7 点。

- (1) 公営企業の組織の見直し、上下水道局を新設し、業務課と工務課を置く。
- (2) 会計管理者は総務部長が兼務する。
- (3) 支所市民課長は総合支所長が兼務する。
- (4) 監査委員事務局を議会事務局から分離し、専任職員を配置する。
- (5) 税務課内に収納推進センターを設置し、滞納対策の強化を図る。
- (6) 農政課の農政係と農業振興係を統合し農政係とする。
- (7) 健康保健課健康増進係を総合福祉センターへ移転する。

5 国保税率改定について

少子高齢化が進展する中で、高齢者の医療を支えるための医療制度改革に伴い、国民健康保険税に後期高齢者支援金分が新設されること、ならびに後期高齢者医療費に関する財政調整が導入されること、および医療費の動向を踏まえた改定が必要なため。

6 メール配信 @ とうみのスタートについて

防災情報や防犯情報等の情報をメールで迅速に配信することにより、情報を市民等で共有化し、市民の安心安全の暮らしに寄与する。

7 後期高齢者医療制度について

長野県広域連合定例会報告

8 特定健診実施計画について

・特定健診・特定保健指導

健診で生活習慣病のリスクが高いメタボリックシンドロームの人を見つけ、生活習慣病に進行しないための保健指導を個別に実施する。また、メタボリックシンドローム解消のための生活習慣改善を支援する。

・人間ドック補助金の交付内容の変更

特定健診が義務化されることに伴い、市および市関係が行っている人間ドック補助金算出の根拠を明確にする等の見直しが必要になったため。

9 下水道事業法適化について

下水道事業の効率的かつ合理的な経営を図るため、下水道事業に地方公営企業法の規程の全部を適用することとし、所要の改正を行う。

10 平成 20 年度東御市土地開発公社予算について

11 都市計画区域の見直しについて

12 田中駅南口整備事業について



日信工業予定地（鞍掛）

請願・陳情

- （陳情第1号）
◆地方自治体の安定的財政運営と道路特定財源の確保を求める意見書の採択を求める陳情書
▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会
▽審議結果 採択
- （陳情第2号）
◆地デジ放送の受信対策の推進を求める意見書の採択を求める陳情書
▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会
▽審議結果 採択
- （陳情第3号）
◆「バイオマス推進基本法」（仮称）の制定

- （陳情第4号）
◆「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情
▽陳情者 日本熊森協会
▽審議結果 不採択
- （陳情第10号）
◆「地域安全・安心まちづくり推進法」の早期制定を求める意見書の採択を求める陳情書
▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会
▽審議結果 継続審議

- ◆「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情
▽陳情者 日本熊森協会
▽審議結果 不採択
- ◆「地域安全・安心まちづくり推進法」の早期制定を求める意見書の採択を求める陳情書
▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会
▽審議結果 継続審議

問 西沢川の改修工事は、平成4年から毎年2、3か所ずつ永久護岸工事が行われてきたが、田中県政以降工事が中断しており、護岸保護用の蛇籠の針金が腐食し、危険な場所が数多く見受けられる。災害を未然に防ぐためにも永久護岸工事を早急に実施するよう県に要望すべきと思うが。

答 西沢川の永久護岸工事は、平成4年から毎年2、3か所ずつ永久護岸工事が行われてきたが、田中県政以降工事が中断しており、護岸保護用の蛇籠の針金が腐食し、危険な場所が数多く見受けられる。災害を未然に防ぐためにも永久護岸工事を早急に実施するよう県に要望すべきと思うが。

問 西沢川の永久護岸工事は、平成4年から毎年2、3か所ずつ永久護岸工事が行われてきたが、田中県政以降工事が中断しており、護岸保護用の蛇籠の針金が腐食し、危険な場所が数多く見受けられる。災害を未然に防ぐためにも永久護岸工事を早急に実施するよう県に要望すべきと思うが。

答 西沢川の永久護岸工事は、平成4年から毎年2、3か所ずつ永久護岸工事が行われてきたが、田中県政以降工事が中断しており、護岸保護用の蛇籠の針金が腐食し、危険な場所が数多く見受けられる。災害を未然に防ぐためにも永久護岸工事を早急に実施するよう県に要望すべきと思うが。

針金が腐食した蛇籠（西沢川）



高藤 征紀 議員

問 西沢川の永久護岸工事の早期実施を
答 引き続き早期改修について県へ要望していく

人事

議会は、第1回定例会において、東御市農業委員に次の4名の方を推薦しました。

- 武田 雄興（常田）
- 榎原 由紀子（新張）
- 唐沢 元生（御牧原北部）
- 笹平 千賀子（下八重原東部）

今議会でも可決した条例

平成20年第1回定例会でも可決した条例（新設3・一部改正16・廃止1）および規約変更の一覧です。

◆議案第21号

東御市後期高齢者医療に関する条例
後期高齢者医療に関し、市が行う事務を定める。

◆議案第22号

東御市公共下水道事業区域外流入分担金の徴収に関する条例

◆議案第23号

東御市滋野コミュニティセンター条例

◆議案第24号

東御市組織条例の一部を改正する条例

◆議案第25号

東御市職員定数条例の一部を改正する条例

◆議案第26号

東御市特別職報酬等審議会条例等の一部を改正する条例

◆議案第27号

東御市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◆議案第28号

管理職手当の支給方法を定率制から級別定額制に改める。

東御市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

会派活動の充実強化、議員個々の知識および資質の向上を図るため、会派所属議員1人当りの政務調査費交付額を、年額4万円から12万円に改める。

◆議案第29号

東御市特別会計条例の一部を改正する条例

◆議案第30号

東御市地域情報交流施設条例の一部を改正する条例

◆議案第31号

東御市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

後期高齢者医療制度が創設されることによる、国保税の年金からの天引き（一部の方）の開始および税額を前年度対比1人当たり平均1万6300円（17・8％）増額する税率改正等。

◆議案第32号

東御市手数料条例の一部を改正する条例

住民基本台帳カードの普及促進を図るため、平成20年4月1日から3年間、カードの交付手数料500円を徴収しない改正。

◆議案第33号

東御市国民健康保険条例の一部を改正する条例

◆議案第34号

東御市児童館条例の一部を改正する条例

◆議案第35号

東御市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例

少子化社会における子育て支援を図るため、児童に対する福祉医療費の給付対象年齢を現行、小学校1年生までを小学校3年生までに引き上げる改正等。

◆議案第36号

東御市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

下水道事業の効率的かつ合理的な経営を図るため、下水道事業に地方公営企業法の規定を全部適用するための改正等。

◆議案第37号

東御市水道条例の一部を改正する条例

◆議案第38号

東御市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

◆議案第39号

東御市居宅介護支援事業に関する条例を廃止する条例

介護保険制度導入から8年が経過し、市民病院として居宅介護支援事業所を置いて事業に取り組む必要性が少なくなったため、条例を廃止する。

◆議案第40号

長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

◆議員提出議案第1号

東御市議会委員会条例の一部を改正する条例

神津英典議員の死去に伴い行われた市議会議員補欠選挙において、土屋浩美氏（47）（無所属・常田）が市議会議員に当選されました。任期は平成20年11月20日まで。



土屋 浩美 議員

議会のうごき

2月	5日	川西保健衛生施設組合議会定例会	18日	中学校卒業式
	6日	佐久水道企業団議会運営委員会	19日	平成20年第1回定例会正副委員長会議
	8日	議員研修会		小学校卒業式
		議会全員協議会	21日	平成20年第1回定例会閉会
		上田市婦恋村東御市正副議長会議		伝統的建造物群保存地区保存審議会
	12日	社会福祉協議会理事会	22日	マレットゴルフ協会定期総会
		上田広域連合議会代表者会	24日	第1回議会だより編集会議
	13日	産業建設常任委員会・農業委員会懇談会		社会福祉協議会理事会
		北佐久郡老人福祉施設組合議会(全協・議運)		しなの鉄道沿線連絡会
		全国市議会議長会地方行政委員会	25日	市立保育園卒園式
3月	14～15日	会派清和会行政視察	26日	埼玉県久喜市会派視察来庁
		会派公明党行政視察	27日	上田市東御市真田共有財産組合議会定例会
	16日	身体教育医学研究所運営委員会		みまき福祉会評議員会・理事会
	17日	みまき福祉会理事会		小諸市外二市御牧ヶ原水道組合議会定例会
	18日	佐久水道企業団議会定例会		神川沿岸土地改良区総代会
	19～20日	会派共産党行政視察	28日	信州東御市振興公社評議員会
	19日	議会運営委員会		認定農業者の会総会
		土地開発公社役員会	29日	西深井公民館・消防施設竣工式
	20日	上田地域広域連合議会定例会		信州上小森林組合総代会
	21日	広域行政圏市議会協議会総会		ゴルフ協会総会
4月	22日	上下水道事業運営審議会		
		上田地域広域連合議会定例会		
	24日	男女共同参画のつどい	2日	保育園入園式
	25日	北佐久郡老人福祉施設組合議会定例会	4日	第2回議会だより編集会議
	26日	平成20年第1回定例会開会		中学校入学式
	28日	議会全員協議会	5日	小学校入学式
			7日	小諸看護学校入学式
	1日	東御清翔高校卒業式	8日	東御清翔高校入学式
	2日	小諸看護専門学校卒業式	12日	川西保健衛生施設組合例月監査
	5日	湯の丸スキー大会	16日	聴覚障害者協会総会
5月	6日	川西保健衛生施設組合監査	17日	第3回議会だより編集会議
	6～7日	議会全員協議会	18日	文化協会総会
	10日	平成20年第1回定例会一般質問	18日	議員研修会
	11日	北佐久郡老人福祉施設組合監査	19日	梅野記念絵画館10周年記念シンポジウム
	12～14日	平成20年第1回定例会総括質疑・委員会付託	20日	早起き野球大会開幕式
	15日	会派さわやかな風の会行政視察		ソフトボールリーグ戦開幕式
	16日	舞踊部発表会		東京北御牧会総会
	17日	平成20年第1回定例会予算特別委員会	21～22日	市町村アカデミー市議会議員特別セミナー
			23日	第4回議会だより編集会議
			24～25日	北信越市議会議長会定期総会
6月			26日	上田地域シルバー人材センター設立20周年記念式典

感じたこと



小林 茂夫さん
(光ヶ丘)

三月六、七日に市議会を傍聴し、そのときに感じたことについて二点ほど述べてみたいと思います。

最近の私は加齢とともに病気が発症し、通院が多くなり、複数の病気で病院を選ぶことになりました。このときは、周囲の皆さんの経験や、ホームドクターの意見を参考にし、選びます。自分の最終章を楽しく過ごし、最後はピンピンコロリで終われば、これに越したことはありません。それには体を動かすことが最もよいと考え、ケアポートの施設を利用していています。元気で過ごし食べることに美味しさを感じ、生きる毎日が大切である。大変ではあるが、運動の継続が生きる張り合いです。

現在の東御市は施設の数が多くなり、それを利用する機会も増えました。しか

しこれを管理運営する側と十分な連携をとり、活用の促進を図ることが必要で、市民と行政、議会が協力して進むことが肝要です。

次に危機管理は、国、県、市町村の連携が大切である。近々に発生した地震、大雨、山崩れ等、他の組織からの応援をもらうことや、また隣接する市町村への応援など、それぞれ互いに助けあうことが重要であり、これについての理解を深めていかなければなりません。情報の上田広域活動が行われているが、これらを動かす行政の取り組みが必要であると考えられ、またこれらを遂行するために必要な民間の力と、地域に散らばっている技術者、経験者の掘り起こしをして、先輩たちの活用も考えていくべきと考えています。

議会は活発に議論をしていることは頼もしいが、市民各層の意見を聴き行政の方針を調整し、市民に伝えていただけるように心がけてもらえれば、うれしいと感じて拝聴した次第です。

あとがき

花の美しい季節になりました。卒園・卒業式や入園・入学式に出席させていただき、夢をふくらませ、懸命に歩んでいる子どもたちから大きな感動をもらいました。そして、ますます、健やかに成長されるよう、これからも地域を挙げて温かく見守り、応援したいとの思いで一杯になりました。

さて平成20年第1回定例議会は、2月26日に始まり、25日間の会期でした。平成20年度東御市一般会計予算をはじめ、40議案を慎重に審議し、すべて原案通り可決しました。一般会計予算は、第一次総合計画の前期5か年最後の年に当たり、総合計画に基づく継続事業を中心に、公的資金補償金免除繰上償還金10億9千万円を含むものでした。

また、後期高齢者医療制度や国保税に関わる特別会計予算や条例審議では、苦しい生活の中でさらに厳しい負担増への反対意見がありました。しかし、老人医療費の増加や少子高齢化の進む中、現役世代の負担増も考え、皆で痛みを分かち合って持続可能な制度にするためと捕らえ、可決しました。

4月から、40歳以上74歳までの方に特定健診が義務付けられました。医療費削減はもとより、健康に過ごすための予防検診です。

また、今年は総合計画の後期5か年計画策定の年です。今までの市づくりを率直に評価し、だれもが幸せを感じられる東御市にするために、積極的に願いを出していきたいでしょう。

私たち議員の任期も半年余となりました。全員一丸となつて取り組みますのでご意見をお聞かせください。
(山岸 淳子)

広報委員

小林 宗雄	高藤 征紀
依田 俊良	石川 好一
長越 修一	町田 千秋
山岸 淳子	柳澤 旨賢
清水 新一	